

# 定期作況報告

(第2号 平成13年6月20日現在)  
北海道立上川農業試験場

## 1. 気象概況

5月下旬：最高気温は平年より0.9℃高く、最低気温も平年より0.3℃高かった。降水量は平年より9mm少なかった。降水日数は平年より2日少なかった。日照時間は平年より14.5時間多く、平年対比126%であった。夏日（最高気温25℃以上）は2日間であった。

6月上旬：最高気温は平年より2.7℃高く、最低気温も平年より1.6℃高かった。降水量は平年より13mm多かった。降水日数は平年より1日多かった。日照時間は平年より11.2時間多く、平年対比124%であった。夏日は4日間であった。

6月中旬：最高気温は平年より3.9℃低く、最低気温も平年より3.4℃低かった。降水量は平年より9mm多かった。降水日数は平年より1日多かった。日照時間は平年より0.8時間少なく、平年対比98%であった。夏日は1日間であった。

5月下旬から6月中旬までの気象は表1のとおりである。

表1 気象

調査項目	5月下旬			6月上旬			6月中旬			平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	20.6	19.7	0.9	22.2	19.5	2.7	18.2	22.1	▲3.9	20.3	20.4	▲0.1
最低気温(℃)	8.5	8.2	0.3	10.6	9.0	1.6	8.2	11.6	▲3.4	9.1	9.6	▲0.5
平均気温(℃)	14.1	13.8	0.3	16.0	14.0	2.0	13.2	16.6	▲3.4	14.4	14.8	▲0.4
降水量(mm)	20	29	▲9	40	27	13	29	20	9	89	76	13
降水日数(日)	2	4	▲2	5	4	1	4	3	1	11	11	0
日照時間(h)	69.6	55.1	14.5	58.1	46.9	11.2	47.4	48.2	▲0.8	175.1	150.2	24.9

注1) 比布アメダス観測値。

2) 平年は比布アメダス前10か年の平均値。

3) ▲印は平年に比べて減を示す。

## 2. 作 況

事由： 移植（5月21日）後、活着は良好であった。6月上旬の好天により生育が進み、葉数・茎数・草丈ともに増加したが、6月中旬の低温により生育が停滞し葉色が黄化した。

6月20日現在、生育は回復してきており、主稈葉数は平年並であった。㎡当たり茎数は、中苗が平年をやや下回ったものの、成苗「きらら397」は平年を上回った。草丈は中苗がほぼ平年並で、成苗「きらら397」は平年を上回った。

以上より、目下の作況は「平年並」である。

表2 6月20日現在の本田生育

品 種 苗	主稈葉数 (枚)			茎数 (本/㎡)				草 丈 (cm)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	対比(%)	本年	平年	比較
きらら397 中苗	7.6	7.6	0.0	413	445	▲32	93	27.2	27.0	0.2
ほしのゆめ 中苗	7.2	7.3	▲0.1	366	431	▲65	85	28.5	26.9	1.6
きらら397 成苗	8.2	7.9	0.3	531	505	26	105	33.1	28.5	4.6

注1) 平年値は平成6～12年の7か年から平成6年と平成10年を除いた5か年の平均値。

ただし、「ほしのゆめ」は平成9～12年の4か年の平均値。

2) ▲印は平年に比べて減を示す。

3) 本田耕種概要

施 肥 量：N、P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>、K<sub>2</sub>O=9.0、11.0、8.0 (kg/10a)

栽植密度：25株/㎡ (33.3cm×12.0cm)

植え本数：中苗；4本/株、成苗；3本/株

移 植 日：5月21日

2) 秋まき小麦 : やや不良

事由： 前期に続き、6月上旬まで気温が平年より高かったため、出穂期は平年より5日～7日早まった。5月下旬は降水量が少なく干ばつ気味であったため、草丈は平年より8cm～10cm低い。前期に引き続き、茎数は現在も平年を下回っている。

したがって、目下の作況はやや不良である。

表3 6月20日の秋まき小麦の生育

品 種 名	出 穂 期 (月日)			草 丈 (cm)			茎 数 (本/m <sup>2</sup> )		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
タイセツコムギ	6. 7	6. 14	△ 7	85	93	▲ 8	498	630	▲132
ホクシン	6. 4	6. 9	△ 5	84	94	▲10	506	712	▲206

注1) 「タイセツコムギ」の平年値は、前7か年の平均値。

「ホクシン」の平年値は、前6か年の平均値。

2) △は平年より早を示す。▲は平年より減を示す。

3) とうもろこし : やや良

事由： 播種後、高温に経過したため、出芽期は平年より8日早まった。出芽後は一時低温の時期もあったが生育は順調で、出芽が平年より早かったこともあり、草丈、葉数とも平年を上回っている。

したがって、目下の作況はやや良である。

表4 6月20日のとうもろこしの生育

品 種 名	出 芽 期 (月日)			草 丈 (cm)			出 葉 数 (枚)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
キタユタカ	5. 21	5. 29	△ 8	55	42	13	9. 5	7. 3	2. 2
P 3 7 3 2	5. 22	5. 30	△ 8	48	40	8	9. 0	7. 2	1. 8

注1) 平年値は、前7か年の中、平成10年、12年を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早を示す。

3) 平成10年度より栽植本数を 7576本/10aに変更した。

4) 大豆 : 平年並

事由：播種が平年より4日早かったことに加え、播種後の気温が高かったため、出芽期は平年より6日早まった。出芽後の生育は順調で、主茎長は両品種とも平年を上回っているが、6月中旬の気温が低かったため生育はやや停滞しており、主茎節数はほぼ平年並みである。

したがって、目下の作況は平年並である。

表5 6月20日の大豆の生育

品 種 名	出 芽 期 (月日)			主 茎 長 (cm)			主 茎 節 数 (節)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
トヨムスメ	5.29	6.4	△6	12.2	9.0	3.2	3.4	3.6	▲0.2
トヨコマチ	5.29	6.4	△6	14.4	10.8	3.6	4.1	3.8	0.3

注1) 平年値は、前7か年中、平成7年(最豊)平成6年(最凶)を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早を示す。▲は平年より減を示す。

5) 小豆 : やや良

事由：播種が平年より3日早かったことに加え、播種後の気温が高かったため、出芽期は平年より6日～7日早まった。出芽後も生育は順調で、主茎長、主茎節数は両品種とも平年をやや上回っている。

したがって、目下の作況はやや良である。

表6 6月20日の小豆の生育

品 種 名	出 芽 期 (月日)			主 茎 長 (cm)			本 葉 数 (枚)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
サホロショウズ	6.2	6.8	△6	4.1	4.0	0.1	1.3	0.9	0.4
エリモショウズ	6.2	6.9	△7	4.6	4.2	0.4	1.2	0.9	0.3

注1) 平年値は、前7か年中、平成12年を除く6か年の平均値。

2) △は平年より早を示す。

6) ばれいしょ : やや良

事由： 植え付けが平年より2日早かったため、萌芽期は平年より2日～3日早まった。萌芽後は6月上旬が高温に、6月中旬が低温に経過したが、6月上中旬の平均気温を平均するとほぼ平年並であった。萌芽が早まったため、茎長は2品種とも平年をやや上回っている。

したがって、目下の作況はやや良である。

表7 6月20日のばれいしょの生育

品 種 名	萌 芽 期 (月日)			茎 長 (cm)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
農林1号	5.24	5.27	△3	36	32	4
男爵いも	5.25	5.27	△2	37	30	7

注1) 平年値は、前3か年の平均値。

2) △は平年より早を示す。

7) てんさい : 平年並

事由： 5月第5半旬が少雨に経過したことから当初生育は抑制気味であった。このため生葉数は2品種とも平年を1割程度下回っている。6月に入り多雨傾向となったことから草丈は2品種とも平年より1割程度上回っている。生育量としては生葉数の減少を草丈の伸びでほぼ補っている。

したがって、目下の作況は平年並である。

表8 6月20日のてんさいの生育

品 種 名	草 丈 (cm)			生 葉 数 (枚/株)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
モノホマレ	36	31	5	11.7	13.5	▲1.8
ストーク	38	35	3	11.4	12.3	▲1.1

注1) 「モノホマレ」の平年値は、前7か年中、平成10年、11年を除く5か年の平均値。

「ストーク」の平年値は、前4か年の平均値。

2) ▲は平年より減を示す。